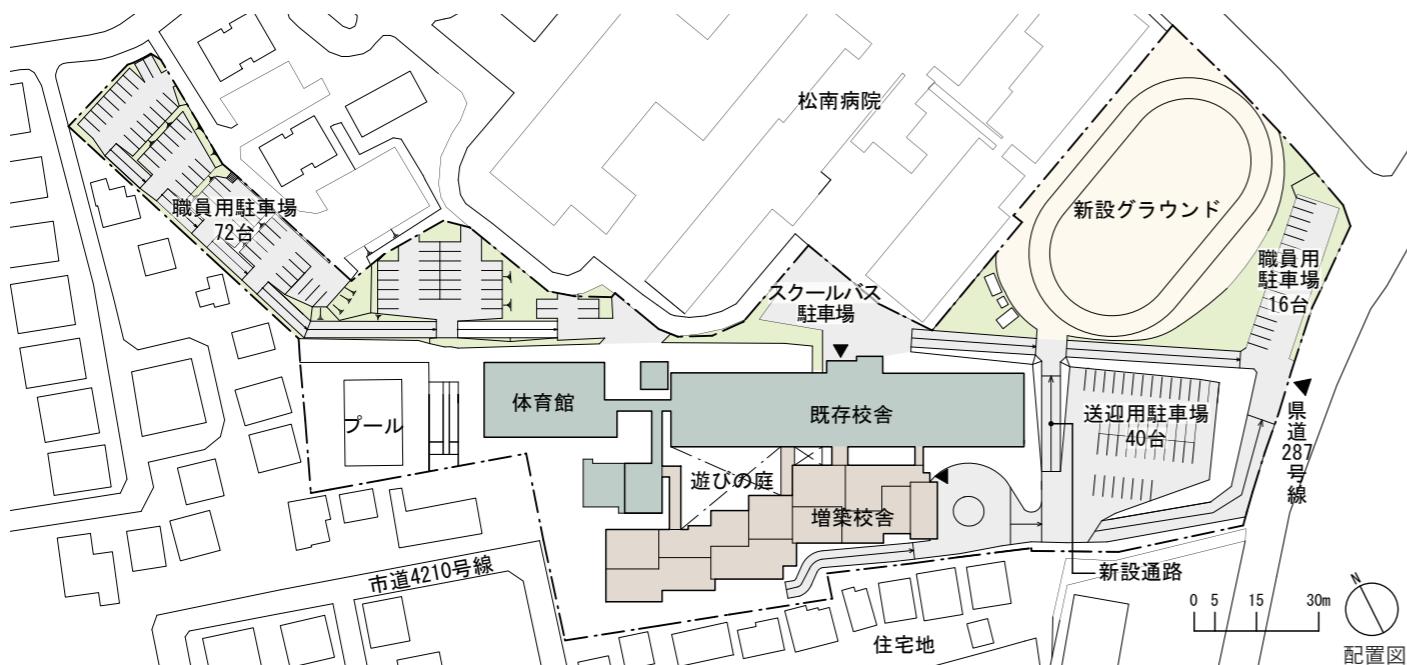


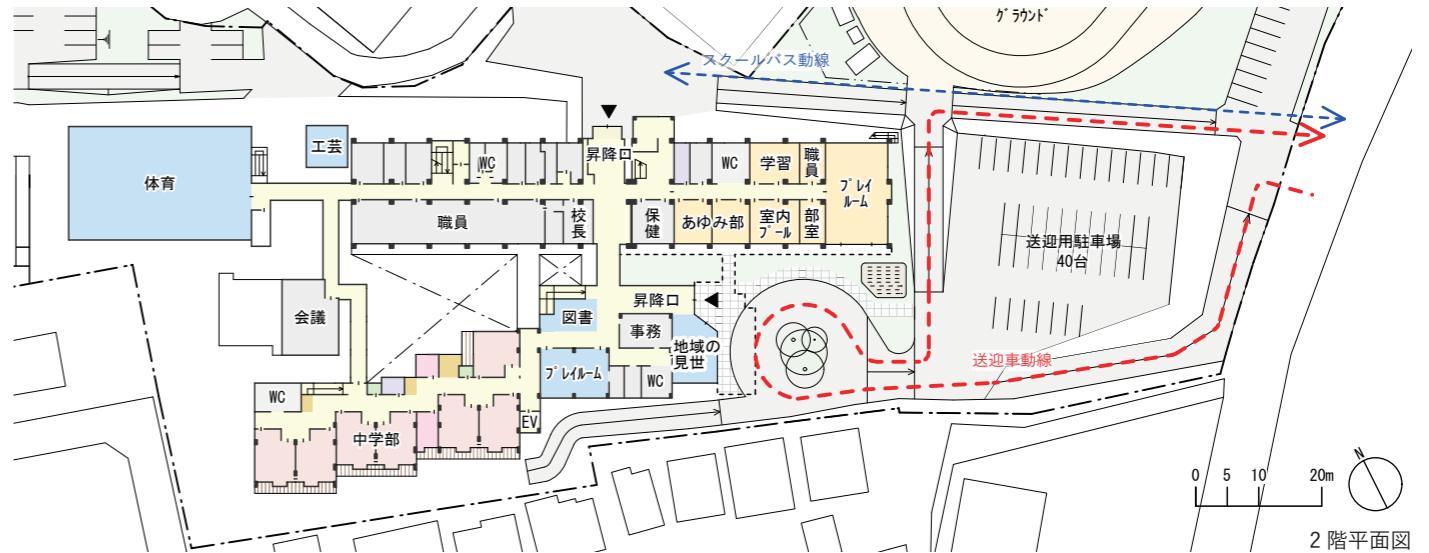
児童生徒数の増加による狭隘化を解消するため、主に教室の増築と、新たに購入した敷地を含めた土地利用の再編を行う整備計画です。高低差の大きな敷地を繋ぎながら、新校舎と既存校舎が一体的になり、庭やグラウンドへとスムーズに行き来できるバリアフリーな計画とします。教室から廊下、庭まで大小様々な居場所を散りばめるように計画し、児童生徒それぞれが、快適に学校生活を送ることができる空間をつくります。また、地域交流空間「地域の見世」を設け、保護者や地域の方々に学校での活動を発信し、また、児童生徒が社会との接点を感じられる、これからインクルーシブ社会の公共空間としても位置づけられる学校を目指します。

■配置計画

- 増築校舎を敷地形状に沿って雁行させて既存校舎との離隔を確保すると共に、コーナーや凸凹の多い、豊かな居場所をつくりだします。
- 既存校舎と増築校舎の間に生まれる中庭を、児童生徒が安全に遊べる、内外を横断した活動の場とします。
- 駐車場の整備や車が通り抜けられる敷地内の通路を新設し、スムーズな送迎や、緊急時の動線を確保します。
- 現状よりも広いグラウンドを確保し、児童生徒が思い切り身体を動かせる環境をつくります。
- 増築校舎を2階建てに抑えて、近隣住宅地への圧迫感をできるだけ軽減します。

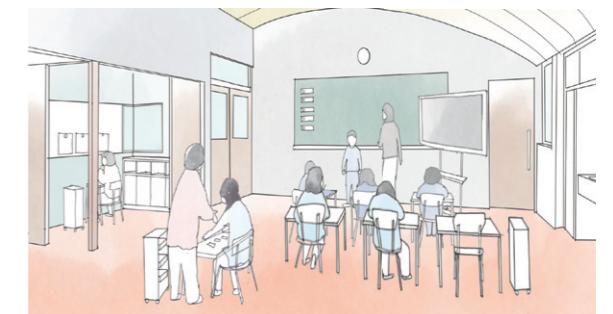


■学びのイメージ・空間デザインの方針



教室

- 普通教室は、広く整形な教室部分と、そこから少し隔てられたりラックススペースからなり、多様な状況や学習に対応できるようになります。
- リラックススペースは多用途の小スペースで、個別学習や更衣、カームダウン等、教室では行えない活動をサポートします。
- 教室は可動家具などにより、先生と生徒が一緒に場所を設えられるようにします。



教室とリラックススペース

廊下（カームダウン室・DEN）

- 廊下には、閉じたカームダウンスペースや「DEN」と呼ぶ小さな居場所を随所に設けます。
- 「DEN」はそれぞれに個性のある設えとし、読書スペースや小上がりなど、教室内に留まらない学習空間にもなります。
- 凸凹の小空間が廊下に連なりながら、校舎全体が学びと生活の空間となる計画です。



廊下と「DEN」

地域交流空間

- 昇降口と一体的な「地域の見世」と名付けた地域交流空間を設けます。「地域の見世」は児童生徒がカフェ実習や学校での製作品の展示販売、接客などを通じ、社会とつながる学習の場であり、学校活動を地域に発信する場として構想しています。



昇降口と地域の見世

■全体工程

年度	R7 年度			R8 年度			R9 年度			R10 年度			R11 年度			R12 年度										
月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
設計																										
工事																										

*設計前(計画段階)の内容のため、今後検討する中で変更となる可能性があります。